

腫瘍生物学 I

Tumor Biology I

単位数：5 単位

○田島義証 教授：消化器・総合外科学

竹谷 健 教授：小児科学

石原俊治 教授：内科学第二

尾林栄治 准教授：病態生化学

中山健太郎 准教授：産科婦人科

川畑康成 講師：肝・胆・膵外科

1. 科目の教育方針

消化器癌、小児悪性腫瘍における発癌、増殖、転移のメカニズムを細胞レベル、遺伝子レベルで説明できるようにする。また、分子標的療法の臨床的応用についても広く学ぶ。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 肝癌、胆道癌、膵癌、大腸癌における発癌や転移のメカニズムを理解する。
- 2) 小児悪性腫瘍における発癌や転移のメカニズムを理解する。
- 3) 卵巣腫瘍における発癌や転移のメカニズムを理解する。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 膵胆管合流異常症における胆嚢癌、胆管癌の発生機序を説明できる。
- 2) 膵癌における分子標的療法について説明できる。
- 3) 胆道癌における発癌の遺伝子レベルでの説明ができる。
- 4) 小児悪性腫瘍における分子標的療法の臨床応用について説明できる。
- 5) 卵巣腫瘍における分子標的療法の臨床応用について説明できる。

3. 教育の方法、進め方

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。講義は主として面接授業で行うが、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みて、オンライン授業に変更する場合もある。オンライン授業の場合は、Teams 等によるライブ配信を中心にオンデマンドを併用する。講義方法に変更がある場合には都度、連絡を行う。

4. 成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率（2/3 以上）を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

5. 使用テキスト・参考文献

- 1) 膵・胆管合流異常の新たな展開 第1版, 2011 医学図書出版
- 2) 小児血液・腫瘍学 第1版、2015年 診断と治療社
- 3) よくわかる卵巣癌のすべて 2007 永井書店
- 4) Pancreatic carcinoma, cystic neoplasms, and endocrine tumors: diagnosis and management Beger HG, Nakao A et al. 2015, Wiley Blackwell
- 5) Acute Leukemia-The scientist's perspective and challenge Editor M. Antica INTECH publisher (ISBN 978-953-307-553-2)

6. 教育内容

回	授業内容	担当
1	大腸癌における染色体異常と遺伝子診断	石原 俊治
2	大腸癌の集学的治療	石原 俊治
3	胆道癌における染色体異常と遺伝子診断	尾林 栄治
4	胆道癌の集学的治療	田島 義証
5	小児悪性腫瘍に対する分子標的療法	竹谷 健
6	小児悪性腫瘍の治療	竹谷 健
7	卵巣癌における遺伝子診断	中山健太郎
8	卵巣癌に対する分子標的療法	中山健太郎
9	肝癌における遺伝子診断	石原 俊治
10	肝炎ウイルスと発癌	石原 俊治
11	小児悪性腫瘍の診断	竹谷 健
12	小児悪性腫瘍における分子生物学	竹谷 健
13	膵胆管合流異常症における胆嚢癌、胆管癌の発生機序	田島 義証
14	膵癌に対する分子標的療法の現況	川畑 康成
15	膵癌における染色体異常	尾林 栄治